

Creative Bazaar

— 学びと研究をつなぐ価値創造の広場 —

東京大学附属図書館総務課
新図書館計画推進室
鈴木祐介

suzuki.yusuke@mail.u-tokyo.ac.jp

新図書館ライブラリープラザは…

「ラーニング・コモンズ」

ではない！

1. 問題意識とコンセプト
2. 新図書館計画と
ライブラリープラザの概要
3. 実現に向けた取り組み
4. 今後の課題

問題意識

1. 学びの場のデザインとは？
2. 研究総合大学の「ラーコモ」
とは？
3. 大学のビジョンを実現するには？

問題意識(1) 学びの場のデザインとは？

大学

多様な **学び (learning)** の場

学修

学び

活動 プログラム

問題意識(1) 学びの場のデザインとは？

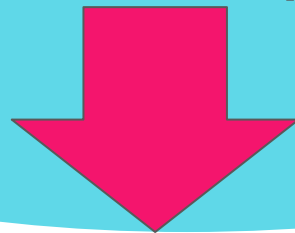
大学

多様な **学び (learning)** の場

学修

学び

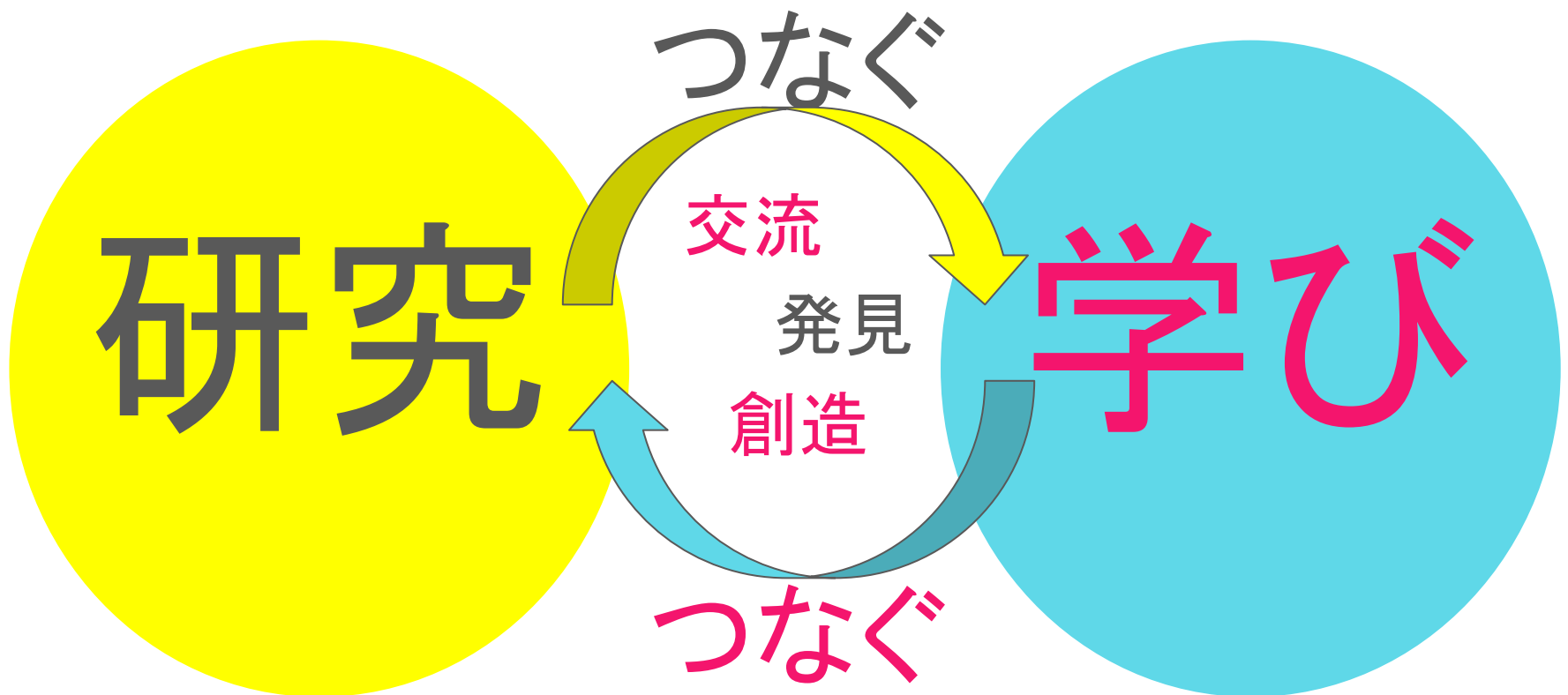
活動 プログラム



学びの場のデザイン

問題意識(2) 研究総合大学の「ラーコモ」とは？

ターゲット：学部3、4年生×大学院生×研究者



問題意識(3) 大学のビジョンを実現するには？

「知の協創の世界拠点」の形成

- [教育] 多様な視点と主体的な行動力
- [研究] 新たな価値創造に挑む

http://www.u-tokyo.ac.jp/president/b01_vision2020_j.html

東京大学ビジョン2020



コンセプト: Creative Bazaar

学びと研究をつなぐ価値創造の広場

- 多様な人と情報が行き交う、
- 魅力とハプニングに溢れた知との出会いの場
- 「使いこなせ！」
＝好奇心と主体性



コンセプト: Creative Bazaar

学びと研究をつなぐ価値創造の広場

- 多様な人と情報が行き交う、
- 魅力とハプニングに溢れた知との出会いの場
- 「使いこなせ！」
＝好奇心と主体性

さまざまな研究会
等のグループが
「出店」する市場

コンセプト: Creative Bazaar

学びと研究をつなぐ価値創造の広場



- 学びと研究をつなぐ
- 分野を越えた研究者の対話と協働を促進
- 多様な社会的価値を創出

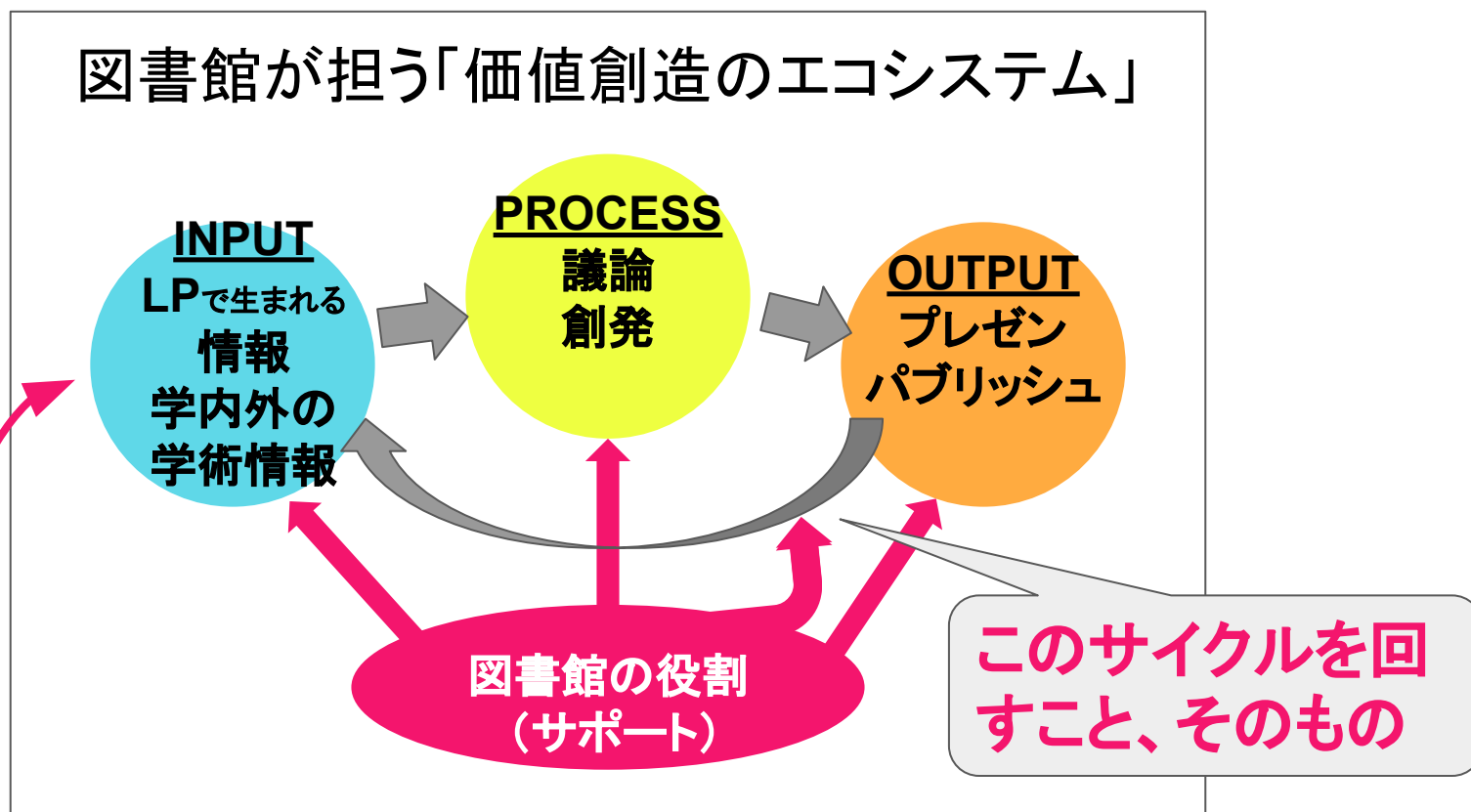
コンセプト: Creative Bazaar

学びと研究をつなぐ価値創造の広場

人や活動も重要なリソース

- 学びと研究をつなぐ
- 分野を越えた研究者の対話と協働を促進
- 多様な社会的価値を創出

LPのコア活動



コア活動
とは？

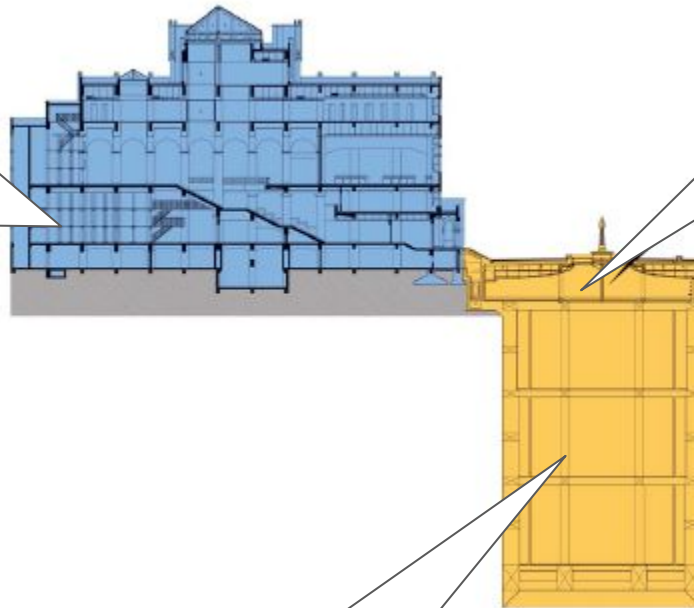
「エコシステム」の各ステップをLPの中で行い、**使い方のモデル**となる活動

1. 問題意識とコンセプト
2. 新図書館計画と
ライブラリープラザの概要
3. 実現に向けた取り組み
4. 今後の課題

東京大学新図書館計画とは？

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/>

本館(改修)
「確かな知」



新館B1F
ライブラリープラザ
生まれたての
「熱い知」



新館B2-4F
自動化書庫

ACADEMIC COMMONS 新 新図書館



ライブラリープラザ／LP(仮称)



ライブラリープラザ・イメージパース

1. 問題意識とコンセプト
2. 新図書館計画と
ライブラリープラザの概要
3. 実現に向けた取り組み
4. 今後の課題

(1) コア活動をつくる

ミニレクチャプログラム

- 学びと研究をつなぐ、異分野交流イベント
 - Future Faculty Program (※)の大学院生が、インタラクティブな手法で模擬授業を行って、自分の研究を伝える
 - ターゲット
 - 研究の世界を知る(学部学生)
 - 異分野に触れる(大学院生)
- 大学総合教育研究センターとの連携
- 学生サポーターによる企画

※Future Faculty Program (<http://www.todaifd.com/ffp/>)

大学教員をめざす大学院生が、インタラクティブなティーチングの知識・スキルを実践的に修得するためのコース

(1) コア活動をつくる: ミニレクチャプログラム

授業デザイン改善の
過程を間近でまなぶ

勉強会



- 学びと研究をつなぐ
- 異分野交流

WEB OF SCIENCE™

INPUT

LPで生まれる
情報
学内外の
学術情報

PROCESS

議論
創発

OUTPUT

プレゼン
パブリッシュ

プログラム本番

the University of Tokyo
E-JOURNAL PORT

CiNii
日本の論文をさがす
Articles



(2) モデルルームで試す

ミニレクチャールーム

- 文理の枠を超えた多様な学びと交流を生み出す、グループワーク、ワークショップ向けの空間
- 新図書館の活動を先行して試し、可視化する場
 - LP活用モデルをつくり、示す(広報)
 - LP運用にフィードバック

可動式のイスやホワイトボード



クリッカー



ワークショップ(9/9オープニングイベント)



(2) モデルルームで試す： ミニレクチャールーム

オープン(2015年9月)後の利用実績



	利用件数	稼働率(%)
9月	6	38.9
10月	12	60.0
11月	16	72.2
12月	9	52.9

※稼働率は利用日数で算出

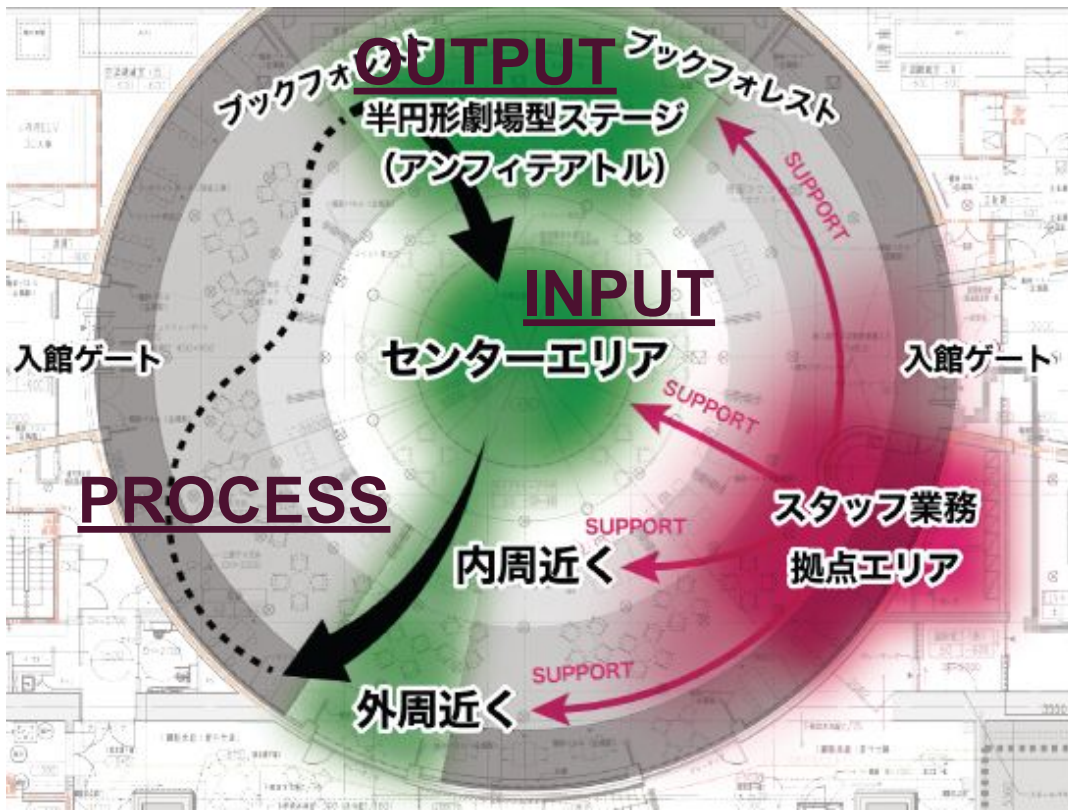
- 広報強化 →利用の定着、リピーター
- 利用内容：勉強会、研究会、授業、イベント
- 利用アンケートの蓄積

(3) コンセプト・フロアプランの検討

- 検討チーム＝図書館職員＋教員（建築、教育分野）
- これまでの活動
 - 先行事例の調査
 - 学生のニーズ調査
 - 学生との協働
 - コンセプト・ペーパー（基本方針）の作成
 - 設備的要件の明確化
 - 検討中の事項：
 - ゾーニング案、什器仕様、コア活動、運営体制

(3) コンセプト・フロアプランの検討

LPのゾーニング(案)



- INPUT
- PROCESS
 - 内周、外周部
 - 壁面ホワイトボード
- OUTPUT
 - ステージ
 - ブックフォレスト
- スタッフエリア

(4) 職員のあり方を試す

職員課題検討グループ

- 職員が自主的に組織したワーキンググループで、先行実験
- 活動テーマ
 - 新図書館実現に向けた課題
 - 完成後、職員はどうあるべきか、働き方はどう変わるか？
- 2015年度の体制(サブテーマ)
 - 広報・Web、イベント・展示、教育学習支援・コモンズ運用、学生との協働、自動化書庫・資料保存



1. 問題意識とコンセプト
2. 新図書館計画と
ライブラリープラザの概要
3. 実現に向けた取り組み
4. 今後の課題

今後の課題

- 運用体制：連携とすみ分け
 - 連携
 - 教員／図書系職員／学生が連携した運用体制
 - 既存の取組みとのパートナーシップ
 - すみわけ
 - 既存の取組みの補完
- コア活動、サポートプログラムの開発
- 活動のしかけ
 - 活動の可視化
 - 交流

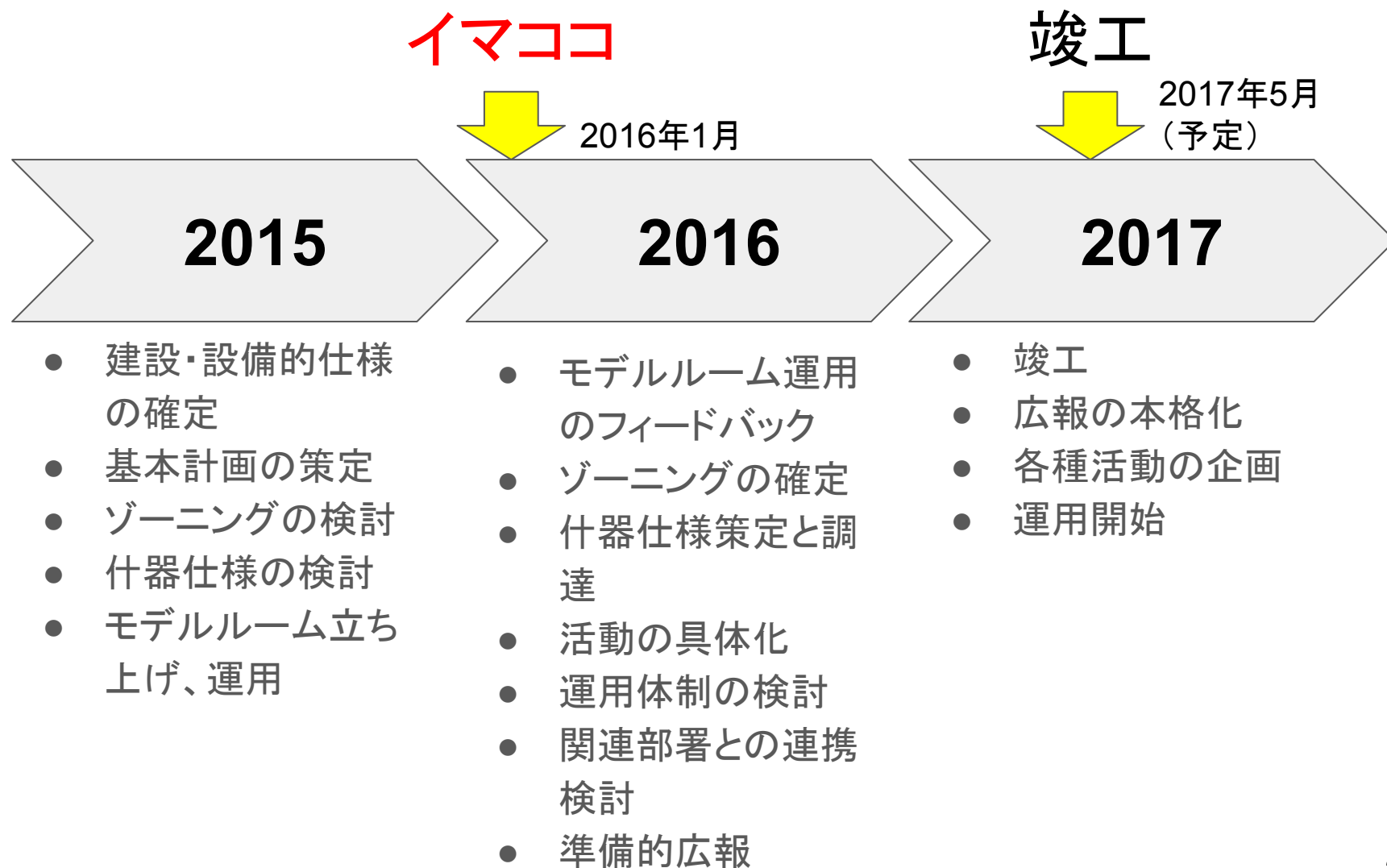
今後の課題

- 運用体制：連携とすみ分け
 - 連携
 - 教員／図書系職員／学生が連携した運用体制
 - 既存の取組みとのパートナーシップ
 - すみわけ
 - 既存の取組みの補完
- コア活動、サポートプログラムの開発
- 活動のしかけ
 - 活動の可視化
 - 交流



学びの場
のデザイン

LP完成までのスケジュール



ご清聴いただき ありがとうございました

東京大学新図書館計画サイトもご覧ください。

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/>